

物見山報告書

山名	鬼怒沼～物見山	目的	湿原を散策し物見山に登る	月日	27年 6月 6日(土)	ランク	B
参加者	14名 CL	E藤 S男	SL	I田 T子	記録	天気	曇
車提供者		歩行時間		6時 30分			
参加者	男性:7名 女性:7名	大谷		夫婦淵P	日光沢温泉		
		5:30	7:30	8:30			
		観瀑台	鬼怒沼	物見山	鬼怒沼	観瀑台	
		9:10	10:30	11:30(休憩)	13:20	13:50	
		日光沢温泉		夫婦淵p	温泉入浴		大谷
		14:30	15:05	16:15	17:50		
概要	<p>日光沢温泉から本格的な登山道となる。吊橋を左岸に渡り、鬼怒川に沿って上流に進み、丸沼分岐から急登の山腹をつづら折れに登ると、オロオロの観瀑台に着く。オロオロの滝は若葉に隠れてわずかにしか見えない。更に急登を少し登ると、アオト、コメツガ等の傾斜の緩やかな樹林帯で、登山道は湿原まで残雪に隠れて、歩きにくくなる。湿原は雪が消えヒメシャク・ショウジョウバカマ・ワスレがが見られたが、周辺は靄っており展望はない。木道で手白温泉からのグループとすれ違い、寒いので合羽を着る。避難小屋で休息しから、分岐の丁字路を左折して雪の残る山腹の道を進む。雪の消えた箇所は刈り払いされた明瞭な登山道である。半時計回りに尾根を巻き物見山(毘沙門山)に登頂する。山頂は木々に囲まれていて寒くない。ここで昼食を食べて帰路に就く。鬼怒沼は寒かったが、合羽を雨に濡らすことなく無事に下山できた。</p>						

